

平成30年度 全国学力・学習状況調査について

平成30年4月17日に横浜市立小学校6年生に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせいたします。

平均正答率	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
大曾根小学校	78	61	74	62	66
神奈川県	70	54	64	52	60
全国	70.4	54.7	63.5	51.5	60.3

※Aは市として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題

神奈川県や全国の平均正解率と比較し、本校の傾向として、概ね10ポイント近く高い状況です。ただし、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題では、国語、算数共に「活用」に関する問題の方が10ポイント以上低くなっています。本校ではやや「活用」面が弱いことがわかりました。

国語、算数、理科の学力だけでなく児童質問用紙を通して子どもたちの生活習慣、学習習慣、意識に関する調査も行われました。

この調査から、自尊感情の高い子どもが多いことがわかりました。「自分にはよいところがあると思いますか。」という問いに80%以上の子どもたちが肯定的に答えました。「家の人と学校での出来事について話しますか」や「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の問いにも80%以上がどちらかといえばそう思うと答え、家庭や学校での励ましで自信をつけてきていると考えられます。

また「学校の授業時間以外に1日あたりどのくらい勉強しますか。」という問いに3時間以上勉強しているという答えが40%を超え、全国や県の倍以上でした。学習への取り組む姿勢の高さがわかりました。

学習面では、どの教科でも「授業の内容がよくわかる。」という答えが9割を超え、「学習内容を生活の中に生かそう。」と考えたり、「将来に役立つ」と考えたりしている子どもも多いことがわかりました。

これからも、問題解決に対する意識を高め、さまざまな文章を読む機会や自分の意見を相手にわかりやすく述べたり書いたりする機会を充実させて、思考力・判断力・表現力を伸ばしていくことを大切にしていきます。そして、子どもたちが自分の考えをもちお互いに考えを交流し合うなど、学び合う場を工夫することで、子どもにとって楽しい授業の実現を目指していきたいと考えています。